

派遣先	インドネシア・ガジャマダ大学 (UGM)
派遣期間	2016年2月15日(月)~2月27日(土)
学生ユニット	ユニットN,W(計7名)(教育学部3名, 教育学研究科1名, 融合科学研究科3名)
実習先高校	SMAN 3 Yogyakarta, SMA 6 Jogjakarta
滞在先	Gajah Mada University Club
引率教員	大寫竜午(2月15日~21日)

主な活動

2月15日(月)

UGMの学生が大学のバスで空港に迎えに来てくれ、途中、夕食をとってから宿へ向かう。

2月16日(火)

UGM 地理学部の3名の副学部長と国際課センター長のエマ先生と共に、オープニング・ミーティングを開催。学生の授業計画にコメントをもらう。授業を実施する学校を訪問し、実験器具や教室を確認した。両替などした後、宿舎にて翌日の授業準備に取りかかる。

2月17日(水)

授業第一回目。グループごとに協力して一回目としては十分なパフォーマンスを見せた。その一方、双方向の授業の実現に関して課題も見つかり、宿舎に戻ってから授業の改善を行った。

2月18日(木)

交流のために来たカリマンタン島の Global Islamic Boarding School の生徒も一緒に学生の授業を受けた。授業の評判はかなり高かった。学生は、午後には日本語の授業に飛び入り参加し、高校生と習字を通じて交流した。

2月19日(金)

ガジャマダ大学地理学部副学部長(国際担当)の提案で、Hotel Winoto Sastro Yogyakarta にてバティック作り体験を行った。伝統文化に触れると共に、染めの技術を学ぶこともできた。



紙作りの演示(ユニットN)



液晶作りのポイントを説明(ユニットW)

[第一週目総括]

16日には3名の副学部長をはじめ多くの教職員、学生に参加していただいた（学部長は参加する予定であったが急用のため欠席）。このように現地での実施体制は十分に確立されたものとする。ジョグジャカルタ第3高等学校からも、学生の研究テーマについてあらかじめ勉強しておくことで、学術的にさらに深い交流ができるのではないかという提案をいただくなど、さらなる発展が期待されている。